

精保第 176 号
新健セ第 656 号
令和 6 年 10 月 24 日

新潟県医師会長 様

新潟県精神保健福祉センター所長
新潟市こころの健康センター所長

**令和 6 年度新潟県・新潟市依存症相談対応研修「みんなで
取り組むアルコール健康障害対策」の開催について（通知）**

日ごろ、当県及び当市の精神保健福祉施策について、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、県と市の共催にて標記研修を下記のとおり開催することといたしました。
つきましては、貴会会員へ周知くださるようお願いいたします。

記

- 1 日程
令和 6 年 12 月 5 日（木） 午後 2 時から 4 時 30 分まで
- 2 開催方法
Zoom ミーティングによるオンライン開催
- 3 対象及び定員
精神科医療機関、一般医療機関、薬局、訪問看護ステーション、健診・保健指導等を実施する機関、障害福祉関連相談機関、生活困窮者自立相談支援機関、社会福祉協議会、行政機関等の職員 250 名（端末数）
- 4 内容
別添「令和 6 年度新潟県・新潟市依存症相談対応研修実施要領」及び別紙のとおり
- 5 受講申込
令和 6 年 11 月 25 日（月）までに、「新潟県電子申請システム」に必要事項を入力の上、申し込む。

【問合せ先】

新潟県精神保健福祉センター 清野
TEL : 025-280-0111 FAX : 025-280-0112
E-mail : ngt043040@pref.niigata.lg.jp
新潟市こころの健康センター 小出
TEL : 025-232-5551 FAX : 025-232-5568

令和6年度新潟県・新潟市依存症相談対応研修 実施要領

1 目 的

アルコールは様々な健康障害との関連が指摘されており、アルコールの多飲によってがん等の疾患や自殺のリスクを高めると指摘されている。しかしながら、アルコール依存症の生涯経験者が約100万人と推計されるのに対して、そのうち治療を受けている患者数は約5万人であるとの報告があり、いわゆる「治療ギャップ」が大きい現状であり対策が必要である。

アルコール関連問題を早期に発見し、適切に介入するための知識の習得や県内の依存症治療の体制を理解することを目的に、本研修を開催する。

2 主 催

新潟県精神保健福祉センター、新潟市

3 対 象

精神科医療機関、一般医療機関、薬局、訪問看護ステーション、健診・保健指導等を実施する機関、障害福祉関連相談機関、生活困窮者自立相談支援機関、社会福祉協議会、行政機関等の職員

4 日 程

令和6年12月5日（木） 午後2時から4時30分まで

5 方 法

Zoom ミーティングによるオンライン開催

6 内 容

「みんなで取り組むアルコール健康障害対策」（※詳細は別紙のとおり）

7 定 員

250名（端末数）

8 申 込 み

- (1) 令和6年11月25日（月）までに、「新潟県電子申請システム」に必要事項を入力の上、申し込む。

新潟県電子申請システム：

https://apply.e-tumo.jp/pref-niigata-u/offer/offerList_detail?tempSeq=15142

※右記のQRコード、または新潟県精神保健福祉センターのホームページ「令和6年度新潟県・新潟市依存症相談対応研修」内のリンクからもアクセス可能。

- (2) 同一端末で複数名が受講可能とする。
受講する端末数を把握するため、使用する端末ごとに申し込むこと。
- (3) 定員超過のため受講不可となった場合のみ、主催者から連絡する。



9 そ の 他

- (1) 本研修は、新潟県依存症医療研修・依存症地域生活支援研修及び新潟市精神保健福祉専門研修を兼ねて実施する。
- (2) 申込（代表）者には、開催日の2日前までに、申込のあったメールアドレスへZoomのミーティング情報及び資料について連絡する。資料は参加者が各自でダウンロードする。
- (3) 参加費は無料とする。

令和6年度 新潟県・新潟市依存症相談対応研修
「みんなで取り組むアルコール健康障害対策」
 ～依存症が重症化する前にできることから専門治療までを網羅する～

◆プログラム

時間	項目
14:00～14:05 (5分)	開会、あいさつ
14:05～15:35 (90分)	<p>【講義1】 「アルコール依存症の理解」 講師：医療法人恵松会 河渡病院 院長 若穂田 徹 先生</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お酒が心身に与える影響 ・アルコール依存症とその治療（基礎知識） ・アルコール依存症を疑うときの対応（治療につなぐための関わり方等）
15:35～15:45 (10分)	休憩
15:45～16:05 (20分)	<p>【講義2】 「消化器内科医が診る飲酒量低減療法 ～ナルメフェンの使用経験からの考察も含めて～」 講師：医療法人愛仁会 亀田第一病院 消化器内視鏡センター長 理事長補佐 渡邊 東 先生</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・AUDIT による評価や飲酒量低減治療の取組、治療への動機づけ ・精神科医療機関との連携について
16:05～16:25 (20分)	<p>【当事者からのメッセージ】</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルコール依存症からの回復（体験談）や自助グループの意義
16:25～16:30 (5分)	閉会、連絡事項